

平成29年に設立した長溪の風御厨木場は法人経営を軌道の乗せ、収益を確保するために水田の高度利用により新規導入したブロッコリーは定植時など労力の確保、生産安定と規模拡大が課題。平成26年に設立した清流の里木場は新規に導入した大豆の面積拡大と生産安定が課題。今年度は両法人の経営安定のために支援策として 長溪の風においては水田畑地化の推進による園芸作物栽培面積の拡大、ブロッコリーの高品質栽培、労働力の分析と予令庫導入による労力配分を指導した。清流の里木場においては大豆の面積拡大による法人経営の安定化を指導した。

具体的な成果

普及指導員の活動

1 (法人の経営力強化と連携強化)

- 役員会での経営技術指導。
- 長溪の風御厨木場と清流の里木場と第2回の連携会議を実施。法人運営や担い手についての課題を共有。
- 集落リーダー育成塾への参加。
- 人・農地プラン



連携会議(於清流の里)

2 (水田における大豆栽培面積拡大) (清流の里木場)

- JA伊万里との連携により大豆播種機の借入れと収穫・乾燥調製作業を委託。
- 平成30年24a→令和元年140aに拡大。



3(水田畑地化によるブロッコリー栽培面積拡大)(長溪の風御厨木場)

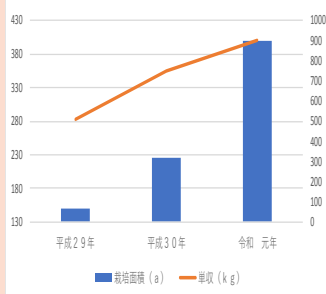
- 経営安定対策の産地交付金を活用し水田でのブロッコリーの作付面積を拡大。

ブロッコリーの栽培面積・単収の推移

年度	栽培面積 (a)	単収 (kg)
平成29年	150	507
平成30年	225	748
令和元年	400	900



ブロッコリーの栽培面積・単収の推移



- なつほのかの栽培面積拡大
平成29年→0a 平成30年→159a 令和元年→160a



1 (法人の経営力強化と連携強化)

- 7月26日第2回総会支援
- 9月17日法人研修会開催
- 11月10日長溪の風、清流の里連携会議
- 11月8~25日集落リーダー育成塾

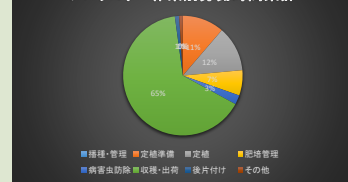
2 (水田における大豆栽培面積拡大)

- 栽培指導、収穫、調整指導
- 経営所得安定対策による面積拡大支援

3(水田畑地化によるブロッコリー栽培面積の拡大)

- 産地交付金によるブロッコリー作付推進。
- 空洞花茎対策として土壌分析と施肥指導。
- 昨年作の作業日誌を集計し旬別・人別労働内容別に労働力分析を行ない、役員会で提示・説明。
- 強い農業・担い手づくり総合支援交付事業による予令庫導入支援。
- なつほのか栽培講習会、防除指導

ブロッコリー作業別労働時間集計



普及指導員だからできたこと

- 法人担当: 研修会の企画と実施。水田畑地化プランの検討。連携会議支援。
- 野菜担当: ブロッコリー土壌分析施肥検討。予令庫導入指導。共同選果の検討。
- 農産担当: 産地交付金指導。大豆栽培指導。ドローンの導入検討。特A指導。
- 花き担当: 小菊導入指導。
- 経営担当: 労働力分析。基盤強化積立金の指導。決算指導。
- 農地担当: 農地の地図化により水田畑地化プラン指導、農地中間管理事業活用指導。